



市の花・つつじ 市の木・もくせい 市の鳥・ジュウカ

今号の主な内容	平和について考える催し	2面
	第3回新庁舎建設検討委員会	3面
	市職員募集	4面
	市営福生駅西口駐車場一時移転	5面
	市民文化教室	6面
	夏休み期間の講座	7面

発行/福生市 編集/総務部秘書広報課 〒197-8501 福生市本町5 ☎042-551-1511 (市役所代表) 福生市のホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

ご参加ください 平和のつどい

昭和10年代後半から20年代の福生では
どんなことがあったのでしょうか
(福生市郷土資料室発行「写真でたどる福生の百年」から抜粋)

昭和16年	太平洋戦争開始。小学校、国民学校と改称。
昭和17年	10月、陸軍航空審査部が新設される。
昭和18年	7月、都制が施行され、「東京都西多摩郡福生町」となる。8月、片倉製糸、多摩航機製作所と改称し、軍需産業に転換。
昭和19年	3月、人口1万人を超える。7月、牛浜駅開設。
昭和20年	4月、熊川、B29の爆撃を受け死者3名。8月、8軒全焼。熊川駅近くに爆弾が落ち1名死亡。8月15日太平洋戦争終結。9月、米軍第一騎兵師団福生飛行場(横田基地)に進駐。11月、福生青年団発会式。12月、熊川青年団発会式。
昭和21年	9月、西多摩郡連合青年団を結成。10月、福生、熊川青年団合併、福生町青年団を結成。多摩航機製作所自転車の生産開始。
昭和22年	2月、文芸雑誌「あかざ」創刊。3月、福生そろばん会発足。4月、初の公選で岸徳次郎町長誕生。5月、福生中学校設立。6月、西多摩自由懇話会設立。7月、福生第一小学校で西多摩夏期大学開講。11月、福生第一小学校で学校給食開始。
昭和23年	1月、町自治体警察署設置。2月、都立熊川保育園、熊川青年団クラブ開設。3月、町消防団結成。4月、町農業協同組合設立。8月、福生病院開設。10月、福生市場(現福生青果市場)設立。
昭和24年	福生第一小学校・福生第二小学校PTA発足。6月、町営グランド牛浜に完成。
昭和25年	8月、プロ野球公式戦(巨人対国鉄)町営グランドで開催。9月、福生熊川簡易郵便局開局。10月、国勢調査戸数2,920戸、人口14,669人。11月、町制10周年記念町民大運動会開催。映画館テアトル福生・福生セントラル開館。
昭和26年	7月、福生七夕まつり始まる。10月、福生第三小校開校。福生駅東口開設。
昭和27年	12月、夜間常備消防部設置。
昭和28年	7月、混血児収容所「福生ホーム」建設。11月、町風紀取締条例施行。
昭和29年	2月、米軍家族住宅協力会(貸家組合)結成。8月、簡易水道各戸給水開始。12月、西多摩婦人生活会館(現牛一会館)落成。



座談会:「市民が語る戦後の福生 (昭和20年代)パートⅢ」

日時8月15日(日)午後1時開場、午後1時30分開演
場所市民会館小ホール※入場無料
問合せ総務部総務課庶務係

市は、平和祈念事業として市主催の「平和のつどい」を開催しています。改めて平和の尊さを見つめなおそうとする催しです。ぜひお誘いあわせのうえ、お気軽においでください。

- 3回目となる今年は
- ・戦後復興に郷土の中核で活躍した若い力
 - ・占領軍は、そして生活苦の町民は
 - ・大混乱した教育界で教育者は、また児童たちは
- の3つのテーマで6人の方に座談会形式で語っていただきます。

司会者坂本丁次氏(東京新聞福生通信部記者)
発言者()内は当時
青柳福治氏(米軍人事部勤務)・清水希益氏(児童)
田嶋定雄氏(第一小学校教諭)・野崎博氏(青年団長)
原嶋卓美氏(児童)・山崎茂男氏(若者)

昭和20年(終戦の年)の福生の人口は、9,918人で、昭和30年は、18,173人です。この時代の福生にいた方がどのような生活をし、どのように生きようとしていたかを知ることは、人口62,000人の市になった今、将来を考える上で大事なことだと思います。時代の波にもまれながら町の礎を築いてきていただいたのですから。その頃大事にされていたもの(文化)を、時代が急速に変わろうとしている現在、再び見つめ直して見る必要があるのではないのでしょうか。今日の私たちの不安、不満は、当時と比べてどうでしょう。一生懸命生きて皆さんの話を聞きながら、これからを考えましょう。若い皆さんが、親子で参加されることを期待しています。

きんもくせい

福生市長 野澤久人